

**平成29（2017）年度  
研究、教育、社会・学会（研究会）活動報告書**

## 1. 研究（本年度のみ）

教員氏名 (ローマ字)	伏見 康子 (Fushimi Yasuko)	職 位	准教授	学 位	博士 (経営学)
専門分野	会計学				
研究課題	テーマ	簿記会計教育			
	概要	簿記会計の教育のあり方について研究する。検定合格という狭い短期的な目標ではなく、会計(学)の役割を理解したうえで、その知識を実際の企業活動や企業人としての業務活動においてより実践的に活用できるような人材の育成を目指す。そのための講義内容や具体的な教授法について検討していく。また、わが国の会計基準や国際財務報告基準の動向についても継続して調査・研究していく。			
本年度 研究業績	研究費	総額： 200,000 円 内訳：個人研究費 200,000 円 / 科学研究費 0 円 企業補助金 0 円 / その他 0 円			
	研究テーマ	簿記会計教育			
	経過と到達点	<p>今年度は、主に中級簿記（2級商業簿記）のカリキュラムや講義内容、教授法について検討を行った。昨年度より日商簿記検定2級の範囲が大きく改訂され内容が増加している。さらに、今年度からは連結会計の基礎が含まれることになったため、中級簿記の内容を大幅に見直す必要があった。さまざまな簿記や会計学のテキストを比較検討しながら、講義内容を組み立てた。また、日商簿記3級の検定対策も今年度より主担当となったため、過去問題を整理し、検定対策として学生の実力養成を効果的に行うための教材を作成した。</p> <p>今年度の2級対策は2月検定向けに行うため、それを踏まえて次年度に向けてのさらなる検討が必要となる。</p>			

## (1) 著書

	著書名	発行年月 (西暦)	発行所等の名称	概要
①単著書				
②共著書				
③単訳書				
④共訳書				

## (2) 論文 等

	論文等の名称	発行年月 (西暦)	単・共著 の別	発表雑誌等	概要
⑤査読付 論文					
⑥紀要論文					
⑦研 究 ノート					
⑧翻 訳					
⑨資 料					
⑩調査報告					
⑪被引用 (他文献)					

## (3) 第三者（文部科学省、経営団体、企業 等）により認証された研究

	研究テーマ (代表研究者名)	期間年月 (西暦)	研究項目の名称 (文科省科研費等)	概要
⑫単独研究				
⑬共同研究 (代表)				
⑭共同研究 (代表以外)				

## 2. 教 育 (本年度のみ)

		前 期	後 期
		科目名	科目名
担当科目	講義	会計学Ⅱ、初級簿記Ⅰ、初級簿記Ⅱ	会計学Ⅰ、財務会計論、初級簿記Ⅲ 中級簿記Ⅰ、中級簿記Ⅱ、
	演習	基礎ゼミナール、ゼミナールⅡ	ゼミナールⅠ、ゼミナールⅢ
	実習		

教育内容・方法 の工夫	<p>◆ 講義科目</p> <p>今年度は、簿記検定対策カリキュラムを新たな体系にし、6月受験から11月受験に変更した。前期の初級簿記Ⅰは例年通りの内容で行った。夏期集中講義としての初級簿記Ⅱは受講希望者が137名と多くなり、大教室での講義となった。パワーポイント等を活用しながら、効果的に講義するよう工夫した。後期の初級簿記Ⅲは、検定対策を具体的にを行うものであり、予想を上回る約80名が履修した。過去問題を活用しながら総合的な問題に取り組む実力を養成するよう工夫した。</p> <p>会計学Ⅰおよび会計学Ⅱ・財務会計論の理論科目においては、テキストの内容について重要なポイントを把握できるよう各授業のレジメを更新した。理論や制度の説明だけでなく、関連する新聞記事を活用して現実社会での問題を取り上げて学生にあるべき会計実務を考えさせる、クイズを提示して学生自身で考えて答えを導く取り組みも行った。その結果、学生の理解が深まり「楽しい授業だった」「他の科目とのつながりが見えて興味を持てた」などの意見が増加し、授業効果をあげることができたと考える。</p>
	<p>◆ 演習科目</p> <p>2年生のゼミナールⅡおよびⅢでは、毎回2、3組が各チームの卒業論文を発表し、その内容について学生が中心となって質疑応答をするよう工夫した。発言の内容が回を重ねるにつれて深いものとなり、学生の成長がみられた。</p> <p>1年生の基礎ゼミナールでは、各自で調べたり、意見を文章にまとめてそれを全員の前で発表する活動を重視した。多くの学生が自主的に発言できる雰囲気が出た。</p> <p>1年生のゼミナールⅠでは、4~5人のグループを作りさまざまなテーマについて議論し発表する活動を取り入れたり、工場見学を実施して現場を実際に見て工業簿記との関連を確認したりするなど、新たな活動を取り入れた。</p> <p>ただし、ゼミ生の人数が増加している中で、個別対応をいかに適切に丁寧に行うかが課題として残っている。</p>
	<p>実習科目</p>
	<p>◆ その他（教科書・教材等の作成を含む。）</p> <p>簿記検定対策のために、日商簿記3級および2級の過去問を問題形式または内容ごとに整理し、実力養成につなげるための教材（ファイル）を作成した。</p>

## 3. 社会・学会（研究会）活動 等（本年度のみ）

## (1) 社会活動

分 類		活動・講演の概要
①地域研究活動	代表	
	理事	
	幹事	
②講演（教育機関・企業等）	学外	
	学内	オープンキャンパス模擬講義「会計がわかれば経営がみえる」
③シンポジウム等の企画 （教授会承認事項／1本）		

## (2) 学会（研究会）活動

分 類		活動・講演の概要（時期）
④学会運営	代表	
	理事	
	幹事	
⑤学会報告		
⑥司会・コメンテーター		
⑦第三者認証研究会 運営		
⑧第三者認証研究会 報告		
⑨一般研究会 運営		
⑩一般研究会 報告		
⑪本学経営情報学会 報告		「簿記検定対策の成果と今後の課題」2018年3月12日

## 4. 特記事項（本年度のみ）

--